

第18回青少年育成北杜市民大会

日時 令和4年11月26日(土) 午後1時30分から
 場所 甲斐駒センターせせらぎ(北杜市武川町牧原1243)
 内容 あいさつ・声かけ運動標語表彰、中学生意見発表、基調講演 ほか
 ◆基調講演では、「非行防止と地域のチカラ」と題し、地域住民が非行防止のためにどんなことを取り組めばよいかなど地域に求められる力について甲府少年鑑別所法務教官を講師に迎えご講演いただきます。
 ※ 一般参加をご希望の方は事務局(生涯学習課)までお申し込みください。
 ※ 青少年育成北杜市民大会は中止になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

忍者まちをはしる! ~大泉の里に修行道場あらわる!~

日時 令和4年11月19日(土) 13:30~16:00(受付13:00~)
 場所 大泉総合会館 他(北杜市大泉町西井出3193)
 対象 市内小学生(全学年)
 定員 40名(先着順) ※10月24日(月)9:00から生涯学習課にて受付開始
 参加費 500円(保険料含む)
 内容 1日限りの「忍者の修行道場があらわれる!道場で修行を積んだ忍者にのみ渡されるのは、秘密の指令書となぞの地図...仲間と協力して数々の試練にいどう!
 その他 中止になる可能性があります。
 実施する場合は小学校を通して案内のチラシをお配りします。



第17回青少年育成北杜市民大会 大会宣言

北杜の未来を担う青少年が、ふるさとに誇りを持ち、心身ともに健やかに成長していくことは、私たち市民すべての願いです。
 まだまだ続くコロナ禍のなかでも、多くの青少年は、夢や希望の実現に向け努力しながら、日々たくましく成長しています。
 一方で、情報化が急速に進み、利便性が向上する一方で、インターネットやSNS(ソーシャルネットワークサービス)等の利用による犯罪・被害の増加など、青少年を取り巻く社会環境が大きく変化し、問題は複雑化、深刻化し、大きな課題となっています。
 青少年を健全に育成し、非行を防止するために、家庭、学校、地域の人々が一体となって、夢や希望を育み安心して暮らすことができる地域づくりに、より一層力を入れて取り組むことが重要です。
 「地域の子どもは地域で守り育てる」の意識のもと、相互に協力・連携しながら、子ども一人ひとりの顔が見えるような地域の実現を目指していくことを、ここに宣言します。

令和3年11月27日

~ 事業へのお問い合わせ、青少年の悩み事・相談等がございましたらこちらへ ~

青少年育成北杜市民会議	生涯学習課	42-1373
青少年育成明野・須玉地区民会議	須玉公民館	42-1434
青少年育成高根・大泉地区民会議	高根公民館	46-1013
青少年育成長坂・小淵沢地区民会議	小淵沢公民館	42-1495
青少年育成白州・武川地区民会議	武川公民館	20-3019

発行 青少年育成北杜市民会議
 (北杜市教育委員会生涯学習課)
 TEL 0551-42-1373
 FAX 0551-42-1124

第13号 令和4年度(前期) 青少年育成北杜市民会議だより

~地域の子どもは地域で守り育てる~

《青少年育成北杜市民会議について》

青少年育成北杜市民会議は、市内の8地域の青少年育成地区民会議と青少年団体が結集した団体で、青少年の健全育成のための様々な活動を行っている団体です。
 令和4年度の前半に行った、それぞれの青少年団体の活動の一部をご紹介します!

【明野・須玉・白州夏休み体験交流教室】
 (青少年育成明野・須玉・白州地区民会議 合同)

【きょうど料理 あずきぼうとうづくり教室】
 (青少年育成須玉地区民会議)

令和4年度から、白州小学校も参加して3校で夏休み体験交流教室をコロナ第7波の最中ではありましたが、参加人数に対して2台のバスを準備し、新型コロナ対策を徹底し、8月10日(水)に実施しました。
 参加者は小学生14名、ジュニアリーダー9名、シニアリーダー2名、青少年育成推進員1名、事務局4名で指導、対応しました。須玉小体育館でのレクリエーションは、JL・SLが指導にあたり、参加者は久しぶりに元気いっぱいゲームをしながら走り回っていました。三分一湧水館では、野外の芝の上で弁当とジェラート(アイス)を食べて、名水百選三角石柱の説明を聞き、湧水に直接手を入れて、とても冷たいとビックリしていました。平山郁夫シルクロード美術館では、地元の子どもの来館という事で、特別に館長さんと学芸員さんに館内を説明して頂き充実した時間を過ごすことができました。



【夏休み子ども読書感想文教室】
 (青少年育成高根・大泉地区民会議 合同)

【いずみパトロールボランティアの会】
 (青少年育成大泉地区民会議)

7月28・29日に「夏休み読書感想文教室」を高根町農村環境改善センターで実施しました。新型コロナウイルス感染症の予防対策を十分に行う中での開催となりました。
 参加者は講師の先生の指導のもと、感想文を書きたい本を読み直しながら「心に残ったこと・その理由」「感じたこと・考えたこと」を付箋に書き出し本に貼っていきます。それらの付箋をもとに感想文の構成を考え、原稿用紙に向かいます。どの子どもも集中して取り組み、二日間でほぼ全員が読書感想文を仕上げることができました。



平成18年4月に発足した「いずみパトロールボランティアの会」は、大泉の子ども達や地域の安全・安心を私達自身で守り、築いていこうという願いの下、活動を続けてきました。今年で発足17年となります。この間、多くの会員の皆さんにご協力をいただきました。
 会員の皆さんには自分の出来る範囲で、パトロール、見守り活動、声かけ・あいさつ、通学路点検などに取り組み、子どもたちが安心・安全の中で登下校できるようにご配慮いただいております。会では、年2回の情報交換会(4月と3月)に合わせて泉小児童との対面式(4月)や児童からのお礼の会(3月)を行っています。



【地域の将来に種を蒔く活動】
(青少年育成長坂地区民会議)

総会を5月19日(木)に開催しました。総会を含め年2回の会議は、学校関係者、青少年関係役員の貴重な情報交換の場となっております。

中学校の先生から、当地区民会議の活動について、次のようなお話をいただきました。この会議の実施する各種事業は、人としての在り方に大きな影響を与える大切な活動で、特に地域の人と中学生が一緒に行う市立甲陽病院の美化活動は、美化意識を高めるだけでなく、コミュニケーション能力向上にも繋がるものである。10年先を見て人を育てるとの言葉があるが、地域の人と子どもたちの協働は地域の将来に種を蒔く大切な活動である。

この言葉は、当地区民会議の存在意義を明確に示しており、長年、地域の子どものために活動している役員の方々には、今後の励みになる温かい言葉でした。



【明野・須玉・白州夏休み体験交流教室】
(青少年育成明野・須玉・白州地区民会議 合同)

これまで、明野地区と須玉地区で行っていた夏休み体験交流教室ですが、本年度より白州地区も加わり3地区の交流体験教室となりました。白州地区の子どもたちに限ったことではありませんが、他地区の子どもたちとの交流を深めていくことは、今後、更に必要になってくることでしょう。そんなことから、白州地区の参加が決定しました。しかし、新型コロナの影響により、45人の参加者枠に14名のみ希望者となりました。

白州からの参加者は、わずか2名でした。それでも、参加者は、一日ジュニアリーダーと共に過ごし、意義深い時間を過ごすことができました。今回を契機に、来年度はたくさん子どもたちに参加してもらい、学び得たことを地域に持ち帰り、更に広げてくれることを願っています。



【全体会議・研修会】
(青少年育成小淵沢地区民会議)

7月9日(土)に56名の青少年関係者にご参加いただき実施しました。全体会議では小中学校、帝京第三・甲陵・北杜高校の先生から、コロナ禍において創意工夫しながら学校生活を送っている児童・生徒の様子をお聞きました。研修会では、報道でたびたび耳にする「ヤングケアラー」について山梨県子育て支援局子ども福祉課職員にお話をいただきました。ヤングケアラーとはどんな子どもなのか、生活面・精神面ではどんな影響があるのか、県の支援等について学びました。そして、私たちはヤングケアラーの子どもとどのように接すればよいのか、どんな支援ができるのか参加者全員で考えました。コロナ禍の児童・生徒の現状を知り、今、支援を必要としている子どもについて基本を学び、考える貴重な時間となりました。



【武川小学校 青パト感謝の会】
(青少年育成武川地区民会議)

武川小学校体育館において武川青少年育成防犯ボランティア(通称-武川青パト)の隊員への感謝の気持ちを表す会が開催されました。仕事等により2名都合がつかせましたが、他10名と事務局が参加しました。青パト隊が子どもたちの安全のために如何に尽力してくれているか、如何に子どもたちを大切に思ってくれているか等、校長先生が子どもたちに話されました。子どもたちもその通りという表情で、校長先生の話に聞き入っていました。隊員は自己紹介を含め、一人ずつ子どもたちに声を掛けました。ユーモアも交えた一言とそれぞれの隊員が持っている雰囲気から、子どもたちは隊員により親近感を抱いてくれたようです。児童会長が感謝の気持ちを述べると共に、みんなで、交通安全と防犯に対して十分気をつけていくことを確認し合いました。更に関係性を高め、子どもたちの安全安心の確保に努めていきたいものです。



【夏季中学生キャンプ】
(北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会)

新型コロナのため3年ぶりとなった夏季中学生キャンプ。直前の感染拡大により、日程を短縮し1泊2日の日程で実施しました。

7月30日(土)に県立ハケ岳少年自然の家のキャンプ場に集まったのは、市内9中学校の1・2年生27名。日常では味わえない本格的なキャンプ生活を楽しみました。キャンプの指導は、北杜市ジュニアリーダー(高校生)が務めました。ジュニアリーダーにとっても初めての指導でした。キャンプを通して、中学生には視野の広さなどが、ジュニアリーダーにとっては一層の指導力が養われました。



【北杜JL(ジュニア・リーダー)活動】
(北杜市子どもクラブ指導者連絡協議会)

宿泊研修は、夏の中学生キャンプの事前準備として欠かせない研修会です。

5月21日・22日の2日間、21人の会員が参加して県立ハケ岳少年自然の家で行いました。研修の内容は、野外レク・野外炊事(鉋の使い方、火のつけ方など)を含む・キャンプファイヤー・スタンプなどの実習、野外活動についての講義など多彩。ジュニアリーダーを卒業したシニアリーダーの指導を受けながら、真剣かつ楽しく活動しました。新入会員も11人が参加し、ジュニアリーダーとしての自覚を高めました。



「あいさつ・声かけ」運動を推進しています

「あいさつ・声かけ運動」とは・・・

日常的な「あいさつ」や「声かけ」を子どもと大人も含めてみんなでやる運動のことをいい、市民運動として定着していくように進めています。この「あいさつ・声かけ運動」を進めていくことにより、人間関係が豊かな、明るく安全で住み良い地域社会(北杜市)づくりを目指しています。

「あいさつ」のいいこと・・・

- ・あいさつをしたり、されると、気持ちがよくなります。
- ・あいさつをする人同士の心の距離を縮め、親近感や連帯感を持つきっかけとなります。
- ・あいさつにより、地域にお住まいの方や自分の住む地域に深い愛着を抱くようになり、住み良い地域づくりが進んでいくことが期待されます。
- ・あいさつが交わされることにより、犯罪の起こりにくい地域づくりに繋がります。

～家庭・学校・地域が連携して、できることからはじめてみましょう！～

『はじめはできることから』

・子ども達にあったら、あいさつをしてみましょう！始めのうちは、返ってこないかもしれないけれど、いつかきっと素敵な笑顔とあいさつが…

『少し慣れたら』

・子ども達と話をしてみましょう！最初はぎこちない会話かもしれないけれど、いつかきっと、子どもの方から話しかけてくれるはず…

『そしてみんなで』

・地域の親として子ども達の成長を見守りましょう！子どもは私たち大人にとって大切な存在です。人間関係が希薄な現代社会だからこそ、地域の教育力を高めることが大切です！あいさつ・声かけのできる素敵なあなたを見て、子ども達は地域のことがもっと好きになることでしょう…

～北杜市青少年育成推進員～

各地区に、北杜市教育委員会より委嘱を受けた青少年育成推進員の方がいます。令和3～4年度は、77名の方が委嘱を受け、次の活動をしています。

- (1)市内における青少年問題の実情を把握し、青少年関係機関等と連携しながら青少年の健全育成
- (2)青少年のグループ活動の促進、有害環境の浄化、青少年の居場所作りの促進、週末活動・体験活動の促進、非行防止及びその他青少年健全育成活動の推進
- (3)青少年育成推進員は、地区ごとに代表を置いて各推進員を取りまとめるとともに、市民会議への参画(活動例)・各青少年育成地区民会議が行う研修、会議等への参加
 - ・日常生活での見守り、安全安心の確認等(安全パトロール など)
 - ・青少年に関わる事業や活動などへの協力(体験教室、ボランティア活動 など)

令和3～4年度「あいさつ・声かけ運動」標語

あいさつは 誰でも贈れる プレゼント

青少年育成北杜市民会議

